

令和7年(2025年)8月15日
滋賀県琵琶湖環境部琵琶湖保全再生課

【情報提供】琵琶湖でのアオコの発生について(第2号)

令和7年8月15日(金)、県琵琶湖保全再生課の職員が矢橋船溜でアオコの発生を確認しました。県琵琶湖環境科学研究センターでプランクトンを同定・計数したところ、その結果は下記のとおりでしたのでお知らせします。

琵琶湖におけるこれまでのアオコの発生状況は、滋賀県ホームページ「琵琶湖の水質(速報)について」(以下リンク)をご覧ください。

(<https://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/kankyoshizen/biwako/300014.html>)

記

アオコの発生状況

発生場所	確認日時	規模	レベル	水温(°C)	構成プランクトン(群体数/mL)
ヤマハマリーナ琵琶湖内(大津市)	8月15日 10時16分	150m×35m	4	33.4	ミクロステイス属 580 アナバナ属 260,000 アファニゾメノン属 0
際川地先(大津市)	8月15日 10時43分	30m×10m	4	35.5	ミクロステイス属 460 アナバナ属 180,000 アファニゾメノン属 0

〈参考〉

レベル4：水表面を膜状にうっすらとアオコが覆う。

レベル5：水表面に厚くマット状にアオコが覆う。

レベル6：アオコが腐敗し、浮き滓状になって湖面を覆い、腐敗臭を発する。

【写真】



ヤマハマリーナ琵琶湖内で確認されたアオコ



際川地先で確認されたアオコ